

まいどさん

足寄町商工会青年部

H30.9.1 No.178

経営研修委員会 森

☆青年部インタビューリレー☆

青年部員一人ひとりのことをより深く知ってもらうために
リレー形式で紹介をしていきます。

第6回は山下侑他副部長・安藤翔悟副部長です。



プロフィール

山下侑他（やましたゆうた）

1983年 足寄町出身

1999年 旭川工業高等専門学校機械科で
工業技術を学ぶ

2002年 足寄石材勤務

ー足寄石材の仕事について教えてください

よく皆さんに仕事何してるの？と聞かれる事が多いので少し説明致します。主な業務としましては石屋と鉄加工、コンクリート工事等色々やっております。石屋につきましては主に墓石、記念碑の建立やお墓にまつわる仕事を中心にやっています。

鉄工につきましては牛舎や車庫を下の基礎から全般的にやっています。その他には道の駅にある松山千春さんの歌碑、お祭のステージ、盆踊りのヤグラ等も製作致しました。

ー昨今の状況や今後の展開について

近年は人口減少傾向が強い事もあり新規のお墓を建てる家が減ってきていて、代わりに納骨堂への納骨が主流になってきています。都会の子供達の近くに納骨する方が増えた事から田舎にあるお墓の解体による墓じまいが増えてきています。新規に建立するだけではなくお墓の戒名彫りや手直し、化粧直し等もまだまだ多くあります。ただ時季的な仕事ではあるのでその他の時季に出来る事として、牛舎や車庫など鉄工建築をやっています。お墓関係の仕事が減っていく一方、農業関係の仕事が増えてきています。この傾向はしばらく続くと思いますがどちらも出来る強みを活かして行きたいと思っています。最近では鉄や石による小規模な作り物や、木を使った作り物の

要望が多く見られるのでお客様のニーズに合わせた何でも屋さんを目指して頑張っていきたいと思います。

自分自身二つの事が同時に出来ない性格なので事業承継は部長が終わってから正式にしようと思っています。
新たに会社を立てるかも含め検討中です。

一 現在までの青年部活動を振り返っての思い

かれこれ 16 年ほど前に入部届けを出したあの日から副部長になった今まで、沢山の人にお世話になりました。本当にありがとうございました。様々な経験をしてきた中で、人として足りない部分ばかりが目立つ事だけでした。大勢の先輩方に生意気なことばかり言って叱られたあの日、大事な役割に当てて頂いたのに寝坊して遅刻したあの日、ダメになりそうな時助けて頂いたあの日、全てが素敵な思い出です。そんなお世話になった青年部で今は古株になりました（笑）部員の時は年の近い仲間がまだ居なく、ただただ色々な事をやっていました。最近になって年の近い仲間が増えてきて先輩達が卒業していく中で副部長になり、少々責任を負いました。青年部活動を続けて来た中で思う事は 1 人じゃ行き詰るそんな時助けてくれる仲間がいる、ダメな時叱ってくれる哲平、様々な意見の人との繋がり、ぶつかり合い、自分には出来ない人の行動が刺激になる、忖度の無い単純な仲間、ただ笑い合える、こんな経験、仲間が出来たのは様々な年や職業がいる青年部だから出来ることであり素晴らしいことだと思います。今後の青年部は近々世代交代が必要だと感じています。最近自らの衰えに加え、若い力が増え勢力を拡大して来ています。昔の自分の様なヤツは居ないので安心して任せられると思いますが、後輩へ伝えなければならない先輩方から教えていただいたことが沢山あります。今後自分が部長になりバトンタッチするまでには自分自身もそうですが、若い勢力と共に学び合いながら成長出来る様頑張っていきたいと思っていますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

一 足寄で生まれてこの町でずっと住んでいきたいと思うには何が必要だと思いますか？

足寄で生まれて足寄で育った人間に足寄の良さってなんだって聞かれても、よく分からない（笑）ただ自分は、ここが好き。その「ここ」が人だったり、ものだったり、ことだったり、何か一つあれば住みたい、帰って来たいに繋がると思うので、青年部活動を通じて足寄町に出来る限り元気を注入して色々な「ここ」を作って行けたら良いなと思います。

事業概要

名称 足寄石材

代表 山下昇

住所 足寄郡足寄町里見が丘

電話番号 0156-25-4178

FAX 0156-25-2421

事業内容 石碎製造業

創業 1981.4.1

以上山下副部長でした。裏面に続きます。

続きまして安藤翔悟副部長です。

	プロフィール 安藤翔悟（あんどうしょうご） 1987 年 足寄出身 2006 年 足寄高校卒業 2010 年 北海道ハイテクノロジー専門学校 柔道整復師学科卒業 2010 年 安藤整骨院勤務
--	---

一何故今の仕事に就いたのか、経歴などを教えてください

今の仕事を考えたのは、高校3年生の秋頃でした。それまでの私は特にやりたいこともなく、だからと言って進学し、なりたい職業も決まっていなく、ただ残り少ない高校生活を淡々と過ごす日々でしたが、ある日担任の先生と進路について話していた際に今までの自分を見つめ直した時パッと頭から出てきたのが「野球」でした。小学生から高校生まで野球をやっていた私は野球に携わる仕事をしたいと思ったのですがどんな風に野球に携わっていこうと考えた時に、野球の試合や練習で負傷したチームメイトの治療や応急処置をやっていた父親を見て、父親がやっていた仕事はスポーツとの関りが多い職業なんだと気づき今の仕事に興味をもち始めました。

専門学校では、解剖学や生理学等の専門分野を学びました。覚えることには多くの苦労がありましたが学んでいくうちに専門的知識や施術技術だけではなく、患者さんの身体の不調やどのような施術が必要なのか聞き取るコミュニケーション能力も大切だと学びました。

専門学校卒業が近づいた頃、父親から現在の安藤整骨院の場所へ移転すると連絡があり父親のもとで働くことを決め現在に至ります。

一仕事で気を付けている事、何がやりがいになっているか教えてください

仕事で気を付けていることは、患者さんとのコミュニケーションです。患者さんが待合室の椅子から立ち上がる動作や診察ベッドまでの移動動作を見て、患部の状態を把握したり患者さんとのコミュニケーションで体調変化も見逃さないように心掛けています。あくまでも自分が主体とならず、患者さんが主体で治療を行っていくように心掛けておりますし、何より患者さんが「今日も病まずに仕事ができた」「夜、久々にぐっすり眠れたよ」等と話してくれて治療の効果がでていることで患者さんの笑顔をみると嬉しく思いますし、仕事をのやりがいになっています。

一事業承継のタイミングをどう考えていますか

父親が今はまだ現役（院長）を継続する意思がありますが、仕事面で自分は少しでも早く父親に楽をさせたいと思っていますがまだ自分も父親みたいな技量をなく、全てをまかせてほしいと言う自信が無いので、今は数人の患者さんを診察しわからない部分は父親に相談しながら学び、徐々に父親の労働時間を減らしていき、すべて任せようになったら、院長を交代する形にしたいと思っています。また、すぐに院長になるのは難しく新たに開業するしか方法がないため、代替わりをするには柔道整復師施術管理者研修という講義を受け施術管理者研修修了書が必要なので受けにいき、いつかでも事業承継の準備をしています。

一副部長を経験して得た事がありますか

副部長になってからは、自分の考え・思いを人へ伝えることが大切だと感じました。何故そう感じたのかといいますと足寄町両国花火大会でミニステージを運営した足寄町青年団体連絡協議会の会長を務めていた時、組織の中心として企画やイベント運営をする際に、自分の考え・思いをうまく人へ伝えることができず周りの方へ相談したり、頼るしかできない自分がいました。苦手と思っていた部分でありましたが、いざ中心となり行動した時に改めて課題を発見することができ、青年部で中心として活動することは将来を事業主として考えた時に絶対に自分の糧となります。今後の青年部での活動を通してまだまだ未熟な自分が成長できるように積極的に活動していきたいと考えております。

事業概要

名称 安藤整骨院

代表 安藤泰幸

住所 足寄郡足寄町西町5丁目

電話番号 0156-25-7750

事業内容 その他療術業

創業 1982.10.1

次回予告

今回のインタビューリレーは佐野健士部員・儀間英沙子部員です。お楽しみに！